

気候危機とその健康リスクに どう立ち向かう？

参加
無料

～熱中症や気候変動関連の健康被害を防ぐために～

2024年10月26日(土)
13:00～15:00

対面&Zoomによるハイブリッド開催
完全事前申込制

会場：北海道大学医学部百年記念館(札幌市北区北15条西7丁目北大医学部内)
対面またはZoom(Webinar)参加
※各先着50名、500名

申込受付 2024年9月9日(月)～10月23日(水)

※下記URLまたは右二次元コードから事前登録を行ってください。
登録いただいた方には後日メールで受講方法等をご連絡いたします。

<https://forms.gle/Dv1i8UaXkiokiPou5>



【講演】

趣旨説明 北海道大学大学院医学研究院 教授 上田佳代

気候変動と医療 東京大学大学院医学研究科 教授 橋爪真弘

近年の豪雨災害の特徴と気候変動予測を踏まえた水分野における
リスクベースの取り組み 北海道大学大学院工学研究院 教授 山田朋人

カーボンニュートラル社会における保健医療
国立環境研究所 領域長 南齋規介

北海道の死因究明における熱中症事例について
北海道大学大学院医学研究院 教授 的場光太郎

介護施設における熱中症対策～北海道・千葉県での実態把握調査から～
北海道大学大学院医学研究院 助教 新井明日奈

【問い合わせ】北海道医学会事務局 札幌市北区北15条西7丁目北海道大学医学部百年記念館内
TEL:011-706-5007(直通) 5007(学内) Email:digakkai@med.hokudai.ac.jp

【共催】環境研究総合推進費1-2307 【後援】北海道、札幌市

気候危機とその健康リスクに どう立ち向かう？ ～熱中症や気候変動関連の健康被害を防ぐために～

北海道医学会会長 畠山 鎮次
北海道大学大学院医学研究院長・医学部長

北海道医学会は、医学の進歩に寄与することを目的として大正12年に発足した北海道の医師、医学研究者の集まりです。

本会では毎年この時期に市民公開シンポジウムを開催しておりますが、本年は「気候危機とその健康リスクに どう立ち向かう？～熱中症や気候変動関連の健康被害を防ぐために～」をテーマとして開催することになりました。

近年、豪雨や猛暑が日本各地で頻発し、熱中症が顕著に増加している状況から、私たちはすでに気候変動の影響を受けていることを実感します。気候変動に伴う異常気象は、熱中症だけでなく、災害に伴うけが、肺・心疾患の悪化、死亡ももたらし、さらには、災害による医療機関の被災など、インフラとしての保健医療体制そのものにも影響を与える可能性があります。

このシンポジウムでは、気候変動に伴う健康リスクを正しく理解し、予防や対策について考える機会にしたいと思っております。

講演内容

- 1. 気候変動と医療** . . . 橋爪 真弘先生
気候変動によって世界各地で猛暑や豪雨などの気象災害が発生、被害が甚大化している。気候変動は21世紀最大の公衆衛生の脅威であるとも言われている。本発表では、気候変動の健康影響を概観し、医療分野での適応策について考えたい。
- 2. 近年の豪雨災害の特徴と気候変動予測を踏まえた水分野におけるリスクベースの取り組み** . . . 山田 朋人先生
頻発する水災害や気候変動の影響に対して適応策を講じるためには、地域・流域の関係者が将来像を共同で考え、現在とるべき行動を意思決定していくことが不可欠である。本講演では、現在から将来にわたり地域・流域で発生し得る水災害のメカニズムやそのリスク評価手法を解説し、リスク情報を踏まえた適応策の考え方を紹介する。
- 3. カーボンニュートラル社会における保健医療** . . . 南齋 規介先生
気候変動の緩和のために、日本は2050年までに“カーボンニュートラル社会の実現”を目指すことを宣言しており、あらゆる産業分野で脱炭素に向けた取り組みが求められる。保健医療分野も例外ではない。本講演では、保健医療セクターからの温室効果ガス排出の状況と、カーボンニュートラル社会における保健医療の在り方を考える。
- 4. 北海道の死因究明における熱中症事例について** . . . 的場 光太郎先生
熱中症による死亡は外因死となり、死因究明の対象として取り扱われることが多い。北海道では昨年8月の猛暑により、熱中症の死者が例年より大幅に増加した。北海道大学で死因究明を実施した熱中症による死亡の発生状況を報告する。
- 5. 介護施設における熱中症対策～北海道・千葉県での実態把握調査から～** . . . 新井 明日奈先生
介護施設は、入居者の住まい、職員の働く場、そして介護制度のインフラです。よって介護施設への熱中症の影響は、個人の健康から介護供給体制に至るまで広範に及びます。私たちが実施した調査に基づき、介護施設での熱中症対策の課題を考察します。